

国際ロータリー会長
李 東建
地区ガバナー
馬場 信彦
北クラブ会長
石川 友意
幹事
米山キクエ
SAA
外山 裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日 2008.7.15 累計 No.1046 当年 No.3



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
ホームページ:<http://www.sanjo-nrc.org>
メールアドレス:north@sanjo-nrc.org

本日の出席:
68名中42名
先々週の出席率:
68名中55名82.08%
(前年同期82.35%)

先週のメイクアップ:(敬称略)

7月 5日GB連絡会(柏崎)
中條耕二、斎藤 正
9日日米親善コンサート
中條耕二、米山キクエ
12日新世代奉仕合同事業
(長岡) 早川瀧雄
13日国際奉仕フォーラム
斎藤 正

本日のビジター:

三条RCより 荻根澤隆雄さん
加藤紋次郎さん

本日の行事:卓話

「そばⅡ」

「ロータリーの友」

7月号紹介

* 縦組み2頁

「識字率あれど識智力

のない日本」

本日のメニュー:合計917Kcal

シーフードペッパー風味のサラダ 202
ポークカレー 515
野菜のチキンコンソメスープ 57
フルーツのクリームチーズプリン 917

会長挨拶

石川 友意会長



先週は七夕例会で、多くの皆様よりご出席いただき、大変ありがとうございました。

又、いろいろ会を盛り上げていただきました高森親睦委員長さんはじめ、委員会の皆さん、そして七夕飾り等嗜好を凝らして下さった横田さん、本

当に楽しい会をありがとうございました。

新年度早々、新会員の入会やら、新しい企画等盛りだくさんでスタートさせて頂きました。今後も委員会活動においていろいろな試みがございますので、会員皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

先々週つまり、今年度第一例会の出席率が出ておりました。53名という最近にない多くのご出席を頂いた訳でしたが、出席率は昨年と同じ位の結果となりました。

市内4RCでワンコインメイクアップを12月迄実施しておりますので、どうか大いにご利用いただき、我クラブの出席率向上にご理解を賜りますようお願いいたします。

地区の行事もたて続きにございました。7月9日は、日米親善コンサートに中條パストガバナー、米山幹事さん7月12日は、新世代合同事業講演会に早川新世代委員長、7月13日は、国際奉仕フォーラムに斎藤国際奉仕委員長より、それぞれお忙しい中ご出席をいただき本当にありがとうございました。

本来ならば、会長として私も出席しなければいけない会もあった訳ですが、何しろ当ホテルの一番のかき入れ時の7月に入っておりまして、失礼をさせていただきました。今後なるべく時間を作って参加したいと考えております。いずれにしましても、地区に限らず当クラブもいろいろな行事が今後予定されております。

それぞれ各委員会の皆さんがかかわっていく訳でございますので、今後の委員会活動を通し、会員の皆さんの交流と親睦が深まる事を期待いたしております。

幹事報告

米山キクエ幹事



- ・吉田RCより 第4分区IMのご案内

日時 2008年9月6日(土) 13:00～

会場 吉田産業会館

*出欠表を回しますのご記入下さい。各委員会委員長、新入会員、地区委員は義務出席です。他会員の方も是非ご出席お願いします。

ニコニコBOX:15日現在累計53,000円

荻根澤隆雄君(三条RC)1年間では在りましたが何かとお世話になりました。感謝申しあげます。山中直前会長、小林直前幹事ご苦労様でした。

今井 克義君 大好きな不動プロが今年2回目の優勝。バンザイ、私の復活も直近です。

阿部 勝子君 暑いですね!でもこのホールは心地よく嬉しいです。堀川さん卓話よろしくお願ひ致します。

石川 友意君 三条RCの荻根澤直前会長、加藤さんを歓迎して。
堀川さん卓話ありがとうございます。

星野 義男君 堀川さんの“そば2”に感謝します。

佐藤 啓策君 堀川さんの卓話を楽しく拝聴させていただきます。

安田 貞夫君 BOXに協力 金子太一郎君 BOXに協力

佐藤 義英君 " 落合 益夫君 "

本間 重満君 堀川さんの卓話楽しみです。



米山奨学BOX

山本 賢君 石川年度米山奨学委員会でございます。

目標達成に努力いたします。どうぞお力をお貸してください。



7/12・13新白河で開催されましたロータリー・ハムクラブの総会に出席してきました。全国90名のメンバーの内30名の会員が出席しました。

本日の行事

「蕎麦の話パート II」



日本人は大変蕎麦好きが多く、近年はほとんど全国で蕎麦が食べられているようですが、少し前までは関西、四国、九州などではほとんど蕎麦の店がなかったそう

です。その代わりうどんやラーメンは盛んだった様です。讃岐うどんや三輪ソーメン、揖保の糸などが特に有名ですが、東日本でも群馬の水沢うどんや秋田の稲庭うどんなども、知名度では全国区に広まっているようです。皆さん蕎麦の名所ではどんな所をご存知ですか？近いところでは福島県山都町、長野の戸隠、松本、山形の蕎麦街道、福井県、茨城県などが有名ですが、遠いところでは出雲地方なども有名です。

では、蕎麦のお店がもっとも多い所は何処でしょうか？実は東京なんです。人口的にも日本最大の町ですから当然といえば当然なんです。実はもうひとつ理由があるんです。

蕎麦は江戸時代以前はほとんどソバガキと言って、蕎麦粉に熱湯をかけてかき回して作るダンゴの様なものに醤油をかけて食べたり、味噌汁や煮物の中に入れて食べていたそうです。昔は製粉技術も悪く、水では中々つながらなかったのだと思います。

江戸時代になって大発明がありました！蕎麦粉に約2割のうどん粉を混ぜると粘りが強くなって薄く延ばしてもヒビ割れたり、切れたりしなくなることが判り、薄く延ばして包丁で切った“蕎麦切り”が盛んになったそうです。現在の二八蕎麦の原型ですね。

その後改良されて、更に薄くする方法や、四角に延ばす技法が考案され、道具も色々開発されて現在のような形になりました。

今は“蕎麦切り”とは言わず、“蕎麦打ち”と言う方が多いと思いますが、延ばす過程で麺棒に巻き付け、台に軽く打ちつけながら回転させて延ばす方法から出てきた言葉ではないかと思われま

す。ところで、みなさん“蕎麦前”とは何かご存知でしょうか？実はお酒の事だそうです。江戸時代の職人たちは、一日の仕事が終わって夕食に安い蕎麦をよく食べたそうですが、そばが茹で上がるまでにちょっと一杯酒を飲むことから酒の事を“蕎麦前”と言ったそうです。

さて、蕎麦が一般的に食べられようになると、色々工夫をする人が出てきたようで、“自然薯蕎麦”“更科蕎麦”“茶蕎麦”“ケシ切り蕎麦”等々色々な“変わり蕎麦”が出来てきました。蕎麦はあくまでも嗜好品なので、それぞれ好みが違うのですが、小千谷、十日町の“フノリ蕎麦”なども“変わり蕎麦”一種だろうと思います。

私は蕎麦の香りが好きなので“十割蕎麦”にこだわっているのですが、繋ぎが入っていない分、打ちにくい欠点があります。

また、切れやすいのであまり細打ちには向いてません。蕎麦通の人は二八に始まって二八に終わるなどと、二八にこだわるようですが、主に喉越しのよさを好み、細打ちの麺をちょっとだけツユにつけてすするのが粋な食べ方などと落語で語られています。

更に“蕎麦八寸”なる言葉もあり、蕎麦の長さは八寸に限る。長すぎる蕎麦は様（ザマ）が悪いなどと言います。

なるほど、長すぎると蕎麦猪口に入れるのに困ります。

高く持ち上げれば中々狙いが定まらず、箸で少しづつたぐり寄せれば、蕎麦猪口からこぼれてみっともないという訳です。

丁度良く打つのは中々難しいようでございます。やはり自分では打たずに良い店を探して行くのが一番かもしれません。

近年のお葬式事情

山中 正

近年、お葬式業界にも様々な波が押し寄せている。ここ 20 年程で都会でも地方でも自宅で通夜、葬儀をせず『葬儀会館』で執り行うようになったのはご承知の通りである。

私の業界の調査では全国に 4,900 程の『葬儀会館』があると言われている。ここ近年では 1 年間に全国で 300 施設が増加しているという。地元、三条市内に於いても 7 施設ある。市町村合併して三条市の人口が約 105,000 人、葬祭業界では死亡率を最大 1,000 分の 8 で計算する事から三条市では年間 840 体のご葬儀がある事になる。そして、三条市内の『葬儀会館』の利用率を 90%で見ると『葬儀会館』の利用数は 756 体で『1 葬儀会館』あたり年間 108 体の取扱となる。それぞれの『葬儀会館』では 2 ホールを保有しているところが多く、ホールの数で計算すると 1 ホールあたり年間 70 体となり、5 日に一件の稼動となる。葬儀業界では人口 3 万人に対し『1 葬儀会館』が適正数と言っている。

そして、時代と共に『葬儀の小型化』が都会を中心に進んできており今、地方にも浸透しつつある。それが『家族葬』と言う名称になっている。遺族、親族、若干の故人との御縁のあった方々のみで故人を追悼する。これが『葬儀の本質』であるかどうかは議論が分れている。

当社では 10 万円のセット価格からご葬儀をパッケージしている。県内では(全国的にみても)安価と付帯サービスでは類を見ない。また『福祉葬』をパッケージとしている。核家族化、経済的格差、などで『お葬式』が出来ない人(家族)がいる。『しきしま会館』にご遺体を安置し、翌日、火葬場で荼毘にする。掛かる費用は 85,000 円程、三条市の福祉課から依頼が来る事が多い。しかし、その 85,000 円もお支払い頂けない事が多い。分割にして毎月 2~3,000 円のお約束も滞る。遺骨を残していなくなった喪主もいる。「余裕が出来たらお支払い下さい」と申し上げている。2~3 日ご遺体(ご遺族)のお世話をさせて頂き、その姿を見ていると同情してしまう。(これまでの損金計上 500 万円程)お葬式も出来ない、お葬式費用が払えない、そんな時代がやって来た。これからの日本(国民の生活)どうなるのか？

